

大前提として、現在のwebサイトは情報量が少なすぎます。

なので、WEBサイトの情報量を増やす必要があります。

なぜそれが言えるのか

それは、転職活動のおよそ9割が転職に対して、リスクを感じるというデータがあります。

そのリスクを感じると答えた人のほとんどが「思っていた仕事内容と違う」でした。

そして、それを避けるために「応募前にしっかりと仕事内容や条件を確認している」

という意見が挙げられました。

「検索する」のが当たり前になっている現代で「求人情報が少ない」ということは不安要素に大いになり得るということです。

そこで、「ならどうした良いの？」ってなりますよね

それは単純に求人情報をできるだけ明確にしたら良いと思います

その方法として3つあると思います。

- 1、仕事内容を正確に伝える、
- 2、数字で具体性を上げる、
- 3、採用サイトを利用

そして3の採用サイトを利用というので勘違いがあるのではないかと思います。

採用サイトに求人出してるからHPいらんくない？

採用サイトに求人出しているからとりあえず、作っただけなど

そう考えていませんか？

//Yesの場合

求人サイトの情報だけでスライヴケアの会社の雰囲気を伝えれるとは到底思えません。

//Noの場合

その限られた求人サイトの情報だけで求人者の不安を軽減することができると思いますか？
できないと思います。

HPの求人情報の意義として求人サイトには載せきれない情報を補うためにあるというのがあります。

求人サイトに載した以上の情報しか伝える情報がない場合はまず、会社のアピールポイントを模索する必要があると思います。

求人をするのも、HPをするのもその後です。

////////////////////////////////////

求人媒体を使っているからHPいらんやんではありません。求人サイトがあってこそそのHPではないでしょうか。

そこでWEBサイトの改善として

時給、応募資格、環境しか書かれていません。

- 1、仕事内容を正確に伝える、
- 2、数字で具体性を上げる、ex(離職率、定着率、残業時間)

この2つを現在のサイトに組み込む必要があると思います。

例

うちの会社の良いところ

みんな仲が良く、
和気藹々とした雰囲気

わからない事があれば
すぐに質問できる環境！

時給 + α

勤務時間：9:00~17:00(条件)